

ときわっこ通信 2号 地域の方と一緒に七夕会をしました！

5歳児 夏野菜でお盆飾りのウマやウシを作りました

日本では、お盆飾りとしてキュウリやナスを使ってウマやウシを飾っていました。キュウリはウマ、ナスはウシを表しています。お盆の時期には、先祖がウマに乗って速く帰ってきて、帰る時にはウシに乗ってゆっくりと帰っていくという意味があります。



割りばし、付けることができるかな？



ふさふさのしっぽがついた！

ここに足を
付けよう



ウマができた～！



地域の方と一緒に夏野菜でウマとウシを作りました。「マッチは付けにくいから、爪楊枝で穴を開けてから付けてごらん」「足はどこに付ける？」など、子どもたちの目線になって、優しく関わっていただきました。子どもたちも、「見て！できたよ」「しっぽ付けれた！」など、地域の方に親しみの気持ちをもって関わる姿が見られました。

みんなで一緒に七夕会！



18人の地域の方が来てくださいました。子どもたちは、「一緒にウマを作ってくれた人だ！」と一緒に活動をした地域の方を見付け、うれしそうに笑ったり、地域の方の名前を知り、「私の名前と同じ！」と呟いたりしました。

七夕会では、地域の方と七夕飾りを見ながら由来を聞いたり、七夕の歌を歌ったりして楽しい時間を過ごしました。

〇〇 ぼくと同じ名前の人、
いるかな…？

おいしいスイカをいただきました

地域の方から大きなスイカをいただきました。各クラスで「おいしい～！」「甘い～！」など、自分の感じたことを話しながら食べました。
5歳児は、地域の方と一緒にスイカを食べました。

種、出せたよ！



クラスの人と一緒に食べたよ



おいしい～！



赤いところがなくなるまで
食べたよ



一緒に食べるとおいしいね！



甘い～！



3・4歳児は地域の方と一緒に七夕会に参加したり、5歳児は地域の方と一緒にウマやウシを作ったりしたことで、地域の方の名前や顔を知り、親しみの気持ちをもつことにつながりました。一緒にウマやウシを作ったり、スイカを食べたりした中で、地域の方と言葉を交わしたり、顔を見合ったりしました。そうした関わりを重ねていくことで、教育大綱の『総社を愛す子供』の育成にもつながっていきます。